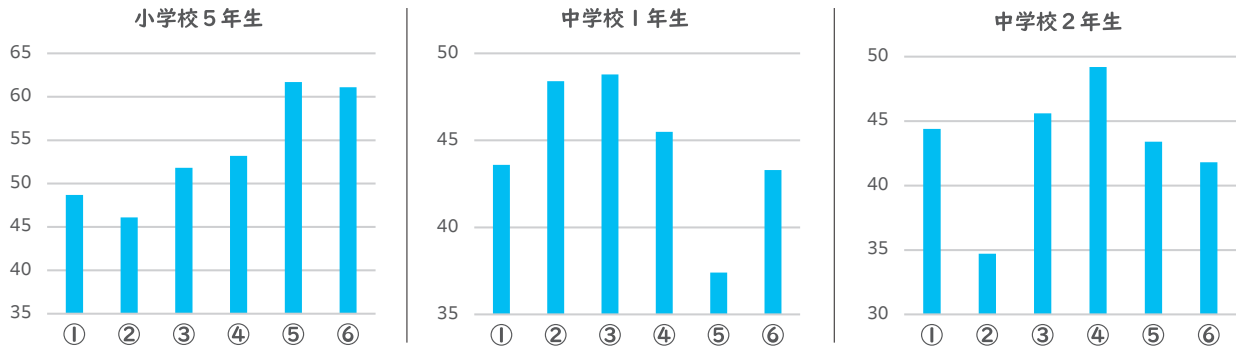


管理課

図 学校教育係(417)

3 1日当たりの読書時間とテストの結果

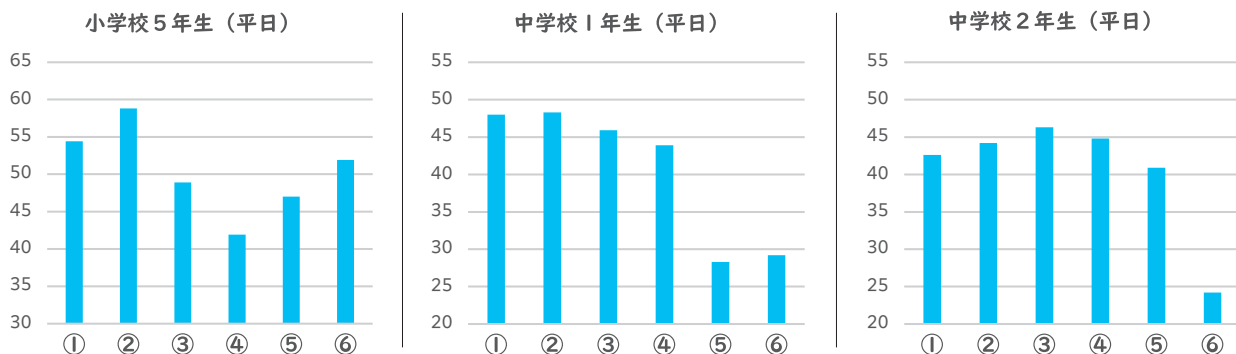
(①0分 ②10分未満 ③10分～30分 ④30分～1時間 ⑤1時間～2時間 ⑥2時間以上)



- ・小学校5年生のデータでは、読書時間が長いほど、正答率が高くなっています。
- ・中学校のデータでは、30分程度の読書時間の生徒の正答率が高く、1時間以上になると低くなる傾向にあります。

4 授業以外の学習でICT機器を活用した時間と正答率の結果

(①0分 ②30分未満 ③30分～1時間 ④1時間～2時間 ⑤2時間～3時間 ⑥3時間以上)



ICT機器は、小学校、中学校1年生は30分未満の子どもが正答率が高く、中学校2年生は30分から1時間程度の生徒の正答率が高いです。中学生では、ICT機器を3時間以上利用している生徒の正答率が低くなる傾向がみられました。

5 考察

- ・小学校では、算数と理科で県平均を上回っていました。国語と社会も県平均に近づいています。
- ・中学校は、県平均を下回っていますが、中学校2年生の数学では県平均に近づいています。
- ・小中学生とも「自分で考え学習する」「学び方を工夫する」など自分の学習方法を考えて取り組んでいる子どもの正答率が高くなっています。
- ・読書については、小学校では読書時間が長いほど正答率が高く、中学校は30分程度の読書量の生徒の正答率が高い傾向にあります。学校の取り組みで、「本を多く借りること」から「読書の質をあげること」への取り組みを始めている学校もあります。
- ・タブレット(ICT機器)は、使用時間が30分程度の子どもの正答率が高くなる傾向にあります。中学校の結果から長時間の使用ほど成果が出るわけではなく、適切な時間が成果を上げることにつながっています。